

事例 タカノギケン株式会社（富山県富山市）

- 事業内容：精密電子部品・自動車電装部品の生産ライン設計・製作/部品OEM製造受託
- 設立：1962年 資本金：8,000万円 従業員：160名

タカノギケン は電子部品の社内一貫生産による高い技術力を誇るシェアトップ企業

CN対応をサプライヤーとしての競争力強化につなげる

CN取組の内容

● ZEB認証の取得

2022年7月にEV用車載品増産のための新工場及び事務所棟を建設。約2千㎡の事務所部分のZEB認証を取得。高断熱、高効率空調・換気設備、LED照明等の採用や再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入により1次エネルギー消費量の約120%削減を達成。

● Scope1,2の把握・削減

2015年にISO14001取得。Scope1,2を把握するとともに社の環境方針も設定し、生産時の省エネ化や原材料部品の使用量削減等を進めることで2021年度実績CO₂20%削減（2015年比）。現在はScope3を見据え、調達・物流においても「CO₂排出量を含めた環境負荷の少ない物流手段の選択」等の環境に配慮した活動を推進。

ここがポイント

CNの取組を取引先企業への提案につなげる

電子部品メーカーのOEM生産に対応する中でCNに関する問合せ（CO₂排出量、取組内容等）が電子部品メーカーを中心に増加。今後サプライヤーに対するCO₂削減等の要請が強まる中、CN対応を進めることで新たな取引にもつながると予想。2023年から各取引先に対して納入製品の生産に伴うGHG排出量及び同社取組による環境負荷低減効果の報告を開始。取引先への提案や新たな取引機会の獲得などサプライヤーとしての競争力向上につなげている。



項目	内容	備考
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

BELS*のZEB認証取得 同社新工場(事務所棟) 取引先への報告様式

※ BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）・・・建築物の省エネルギー性能の表示制度のこと